



毎月一回一日發行
 第一號
 昭和二十五年一月一日
 北海道雨龍郡沼田町
 沼田町役場
 發行所
 編輯者 沼田町長 青陽松太郎
 印刷所 北海道雨龍郡沼田町
 博英社印刷文具株式會社
 24.12.26印刷4,000部發行一

町報發行に際して

沼田町長 青陽松太郎
 住み良く明るい沼田町を建設するには、全町民が町政の内容を知つて置くことが、極めて必要だと思はれます。知つて頂き研究して頂くことによつて、初めて町民の聲を聞くことが出来、民主的な地方行政が来ることになると思ひ、茲に沼田町報を發刊した次第です。

勿論町政のみではなく町内の各種のニュース、又は町民の聲等も登載したいので制限ある紙面で充分な効果は挙げられない虞もあるが、刊を重ねることによつて除々に町民によろこばれる町報となることとしよう。私は本紙を通じて町民各位の町政に對する公正なる批判と協力によつて町發展の指針ともなることを望み敢て發刊の辭とします

發刊を祝して

沼田町議會議長 川端政一

廣く知らしめ、而して廣く住民の良識ある聲を聞き、以て町政を自在ならしめんとし、茲に町報を發刊するに至つたことは、町政の顯著な民主化であつて、まことに喜びに堪えない。

そも、町議會の責務たるや、よく住民の世論を代表し

之を町政の上に反映するところにあるが、顧りみるに我等不敏にして、完全にこの責務を盡せりと云ふを得ざるは、まことに遺憾に堪えないところである。幸いこの町報を通じて、我等議會の動向を知り、住民各位の批判を仰ぐならばまことに欣幸に堪えない。

北空知町村の雄として期待される我が沼田町の發展こそ町長を中心とする町民の一致團結にあり、特に御協力を希望するものである。發刊にあたり、いさゝか所感を述べてこれを祝う。

昭和二十四年度補正豫算議決する學校營繕費等

去る十一月二十一日二十二日の兩日町議會が招集され、昭和二十四年度豫算の大巾な補正予算を提出、議會の慎重な審議を経て可決された。これが内容は、地方配付税の増額と、その他一般歳入の自然増を財源として學校々舎の營繕費、干害對策事業費、町職員の手当寒冷地手当等緊要經費を計上したものである。主なるものは左の通りである。

議會費	八、九六〇圓
役場費	一、七八三二圓
警察消防費	三、四三六圓
道路新設改良費	八〇〇,〇〇〇圓

謹賀新年

昭和二十五年元旦

干害對策事業費	九、四、〇〇〇圓
教育費	一、三、七〇、七五〇圓
營業費	二、四、六、三三〇圓
其の他	一一、一〇〇圓
計	一、五、九八、一六〇圓

沼田町農地委員會長	稻垣源一
沼田町農業調整委員會長	稻垣源一
沼田町農業委員會長	稻田卯一郎
學校	沼田小學校長 永田 駒男 淺野小學校長 光野 高顯 沼和小學校長 宮野 七郎 惠比島小學校長 小川 信藏 奔龍小學校長 原 建兒 眞布小學校長 高橋林四郎 幌新小學校長 城川 雄治 開成小學校長 中西 松雄 沼田中學校長 小岩 直之 淺野中學校長 諏訪 武男 共成中學校長 玉畑 爲道 昭和中等學校長 石川 勝一 北龍中等學校長 大野 繁一 沼田高等學校長 千葉 嘉憲
沼田町民生委員會	常務委員 太田 儀信
沼田町共同募金委員會	
沼田町公安委員	委員長 西森 高治 委員 土田 與造 委員 土肥 嘉藏
沼田町警察署	警察長 三宅 宮松 次長 佐々木健造
沼田町監査委員	小泉 虎吉 五十嵐慶三

食糧供出状況

十二月十五日現在

春以来の農家の皆さんの御努力の結果により、供出成績も毎日に上昇してゐます。全く感謝のほかありません。この稿締切までに、まだ補正量も決定して居りませんが、十二月末日までには、完納を旨してゐます。

御承知のように國會で握りつぶしになつた食糧法改正案が、今度——— 政令として、公布されました。これは超過供出の法制化とも云えるものですが、本年はこれの適用はないと政府では言明してゐます。それは兎に角として一粒でも多くの供出を、念願してゐます。

一方旱害対策の方も併行して、取運んで居ります。救済土木工事も一部町費予算にも計上され、冬期間を利用して實施する予定です。特に御協力をねがひます。

供出成績(米石)

十二月十五日現在

種別	事前割當
米	一八、〇七四
供出	一七、二九四
	九六

雑穀 一、三八一
七九〇
五七

米雜穀計 一九、四五五

麥

一八、〇八四
九三

馬鈴薯

二、四一三
二、六九七
一一二

計

二一、八九五

文化の町を建設する

わが町公民館發足!!

十一月二十一日の議會に於て待望の公民館條例が議決され、即日發布し、こゝに正式にわが沼田町公民館が發足した。

わが國の公民館運動は終戦の苦しみの中に生れ、新しい日本を創造するたくましい意欲に燃えて發足したのであつて、わが町に於ても一應昭和二十三年に設置したのである。公民館をいかに考えるかといふことは人によつてそれと違ふところもあるがわが町としては「機能としての公民館」の面を強く押して行きたい。

國旗を掲揚する

自由は許されてゐる

國旗を戸毎に掲げよう

沼田町 役場
沼田町 公民館

日の丸の旗は平和のシンボル

公民館は單なる建物ではなく、働きがあつて始めて公民館運動の目的がある。

このような意味で、公民館を建てることは第二義とし、先ず次の事柄を推進充足して見たいと思ふ

一、文化の向上について
都督ほど文化が向上してゐることとは、日本にとつて一つの悲劇である。我國のどこに於ても、文化の波に浴し、眞の生活を樂

て、これをいかにまとめ行くかと云ふところに今日の政治上の一大問題がある。

主權在民の精神が如何に發揚され、社會生活に、如何に調和されてゐるかを見届ける見識を養ひたい。

その爲に政治討論會、町政懇談會等も活潑に實施したい。

三、教育の社會化について
日本は新憲法に於て武器を放棄して平和國家たることを世界に宣言してゐる。平和は各人の心の中に打ちたてられなければならないとは、ユネスコの精神である。一人々々の心に平和の焔をうつすものが、教育の歩みであらう。

この意味で、公民館は町内各地で、社會教育の機会をより多く與えるため、年令別に、性別に地域別に、あらゆる講座を隨時開きたい。

沼田町公民館條例

第一條 本町は文化の振興及び社會福祉の増進を圖るため公民館を設置する

第二條 公民館は沼田町公民館と稱し、本部を沼田町宇沼田八十四番地に置く

第三條 公民館は第一條の目的を達成するため概ね左の施設又は事業を行う

一、各種講座を開設すること
二、討論會 講習會 講演會 實習會 展示會を開くこと
三、圖書記録等を設えその利用を圖ること

四、体育レクリエーション等に關する會合を開催すること

五、音楽映畫演劇等につき適當な設備をし、その集會を開催すること

六、公民館の施設を住民の集會その他公共の利用に供すること

第四條 公民館に館長その他主事一名書記若干名を置く、但し館長以下各職員共兼務とすることが出来る

第五條 公民館運営審議會の委員は十二名とし、任期は二年とする。補欠による委員の任期は前任者の残任期間とする

第六條 公民館の利用について必要の場合には使用料その他實費を徴収することが出来る
前項の額はその都度町長がこれを定める

第七條 その他公民館運営に必要事項は運営審議會の決議を経て館長が之を定める

附則

この條例は發布の日からこれを施行する 従前の公民館はこの條例により設置された公民館とする

主要食糧を携行するには
証明書が必要!!

旅行その他で主要食糧を携行する場合は町村長の携行證明書が必要ですから、役場の農政係へ申出て證明書の交付を受けて下さい

“赤い羽根”

— 共同募金について願ひ —

赤い羽根”が人々の限らない愛情のシンボルとして胸高くつけられて居ります。私共の住む社会には、老後を過すに寄る邊なき者や、病苦にさいなまれる悲惨な家庭や、又戦災に焼け出された天がいの孤兒があまりにも多いことに胸ふさがれるものがあります。この氣の毒な方に愛の手を

さし延べる隣人愛こそ共同募金の主旨です。昭和二十四年度の本町の目標は四〇万円でありましたが未だに目標に達して居りません。是非町民皆さんの御協力によつて一日も早く達成されるよう熱望してゐます。特に目標に達しない町内部未だまとまつてないところなど御協力を願ひます。

— 共同募金委員会 —

世界農業センサス實施さる

一九五〇年二月一日現在により

本年二月一日を期して、一部國家を除き世界的に實施される「農業センサス」は、各國の食糧事情の改善と、世界人口の三分の二を占める農民の經濟状態を向上させる基礎資料として、或は世界の衣食住の供給を正確に示して、人類の福祉と、國際平和に寄與せんとするものである。

その具体的な目的を略記すると
一、統計的目的
世界は過去十五年位の間に戰爭又は經濟變動により經濟的、社會的構造に於て非常な變化があり、従前の各

種統計資料は不統一、不完全なものとなり、この際基本的資料を製作する必要がある。
二、經濟的目的
農民の經濟状態即ち世界人口の三分の二を占める農業人口の生活程度を把握し、生産と消費の状態を明らかにして、世界市場の活潑な活動と運輸事業の確立、一般工業（加工業、卸小賣業）の發展を期し、金融に又は農産物の價格統制、統制經濟の重要資料とする。
三、政治的目的
戦後の復興は食糧問題が緊

急且つ恒久的目問題であり社會的暴力、政治的革命も食糧難から起る場合が多いよつて食糧難を解決することによつて、世界平和が確立される。統計はかつて、戰爭遂行を助けたが、平和獲得にも絶対利用されなければならぬのである。

以上の如き重要目的を以て實施されるものであるから統計調査員は勿論、調査對象者の協力が要望されて居る。尙本町に於ても、遂次調査員の會議を開き、調査要綱を徹底して、その正確な實施を期待してゐる。

税の話

私共が、私共の生活の中に「税」といふものを意識し始めたのは何時ごろのことであつたらうか、これは一寸急には想ひ出せない位で、實生活には少しも影響を及ぼさない、いわば爪の「アカ」か皮膚の「シミ」位のものでしかなかつたやうである。

しかしその後文化の發達と共に社會機構が複雑になり、それと比例して、「税」の問題も私共の日常生活と直接重大な關係を持つやうになつて來た。終戦前後には人と逢へば必ず配給のことか食べ物などが話題になつてゐたが、今は大分變つて來たやうである。汽車の中でも街頭でも或は錢湯へ行

つても凡そ人と人との會話といへば、先ず税金のことから始まつて税金のことで終ることには殆んど例外はないはじめは爪の「アカ」か皮膚の「シミ」位にしか感じられなかつた税といふものが、今ではすべての人が身に沁みて痛切な感じを抱くやうになつて來た。

だがそのやうに税負擔が昔より非常に重くなつてゐることは苦痛であるが、納税によつて所謂惡性インフレとか國又は地方團體の財政的破局といふ悲惨な、しかもより大きな苦痛を避けることが出来るならば私共は或程度の耐乏生活はしばらく我慢して、明日への光明を見出すやう努力することが必要なのではないかと考へられる。

又、吾が國のよりよき税制確立のため先般來朝した「シャープ税制使節團」の勸告に基き、近く國稅地方稅の劃期的な大改革が行はれる譯であるが、これによつて眞に安定した而も恒久的な租稅制度が確立せられ、それと同時に比較的むづかしい税金のいろ／＼な問題も解消して行詰つた經濟状態も遠からず必ず正常に回復するであらうことを信じ、國や市町村の台所をまかなう爲にどうしても必要な税金だけは「國民の義務」といふやうな固苦しいことはとも角として、進んで納めるやう努力することが再建途上にある現在國民全部の持たなければならぬ考へ方ではなからうかとも思ふ譯である。

原稿募集

町報はあらゆる面で町民皆さんの機關紙であり、文化高い、親しめるものたらしめたいと念願してゐます。この様な意味で、左記により毎月どしどし御投稿されるよう念願して居ります。

- 一、論説 意見 評論 文化 詩歌 俳句
- 二、原稿は一切返却致しません
- 三、住所氏名を書いて沼田町役場町報編輯部宛出して下さい

統計一束

十月一日人口調査

世帯數	三、五二八
人口	九、五四〇
男	九、一四一
女	一、四〇一
計	一八、六八一

十一月の人口動態

出生者數	六五
死亡者數	一一
轉出者數	一〇九
轉入者數	一〇九

九月十五日現在選舉有權者

男	四、七一六
女	四、四四〇
計	九、一五六

農業經濟の合理化を目ざす

土地改良法とは!!

いよ／＼劃期的な土地改良法が實施され、やがてわが町にも土地改良區が生れようとしてゐます。

農地改革が農業用地の所有にたいする改革であつたとすれば、土地改良は、まさにその利用にたいする改革と云ふことが出來ます。土地改良は結局、農業經營を合理化し、農業生産力の發展を期するにあるが更に又、國土資源の開發に繋がり、小にしては町全体、大にしては國全体の土地利用がすみやかに計畫されることにあると言へませう、以下土地改良法の主要點を説明して、農家の皆さんの御参考に資します。

一、目的

- 1 農業經營の合理化による農業生産力の發展
- 2 國土資源の總合的開發保全

二、土地改良事業に参加資格
農地の場合
自作地——所有者（耕作者）
小作地——小作人

三、土地改良區

- 1 土地改良事業は土地改良區が行う。
- 2 土地改良區の設立は資格を有するもの十五人以上の者によつて、地域を見定め道知事の認可により設立できる。

尚本町の場合は現沼田土功組合の組織變更により土地改良區が設立されると、その地區内の資格者（農地のものも農地以外のものも）は、賛成すると、しないに拘らず總て組合員となる

4 役員

- 理事
- 任期一年 總代会の選舉
- 監事
- 任期一年 半數は總代会の選舉

半數は道知事の任命

5 總代

- 定數 五十人（本町の場合）
- 任期 四年

四、土地改良事業

- 1 かんがい排水施設、農業用道路その他農地の保全又は利用上必要な施設の施設管理廢止又は變更
- 2 區畫整理
- 3 開田又は開畑
- 4 埋立又は干拓
- 5 農地又はその保全若し

愛情のこもつた生活へ

經濟九原則の實施強化によつて、日本の經濟も世界經濟の仲間入りをして、根本的には著々と立ち直りつつあることはまことに喜ばしいことです。然し一面、私共私經濟に於ても、生活費の全面を切り替へて健實な暮らし向きにして行かねばなりません、このような意味で、昨年十月至町より各代表の方が集まつて生活改善實踐協議會が發足致しました。形式的な生活をやめて、本當に愛情のこもつた精神的な社會生活に切り替へませう。特に町民皆さんの實踐協力をお願いいたします。

年末に各戸へ配付したパン

- くは利用上必要な施設の災害復舊
- 6 農地に關する權利並びにその農地の利用上必要な土地に關する權利、農業施設に關する權利及び水の使用に關する權利の交換分合
- 7 その他農地の改良又は保全のため必要な事業

フレッツトは見易いところに貼つて下さい

町税の收入狀況

昭和二十四年度分（四月一日以降）の町税收入狀況は左表の通りで未収入額がまだ六百餘万円もあります。お互の生活が非常に苦しいとお願ひ致します

計	税立獨	税加附	税
11,977,600	町民税（一期） 自轉車 荷車 其他（四税目）	地租附加税 家屋税同 事業税同 特別所得税同 家畜税同 其他同 （十二税目）	調定額 965,168 1,337,860 1,873,188 5,639,292 4,688,660 1,102,000
6,686,584	10,128,000	7,138,264	收入濟額 965,168 1,337,860 1,873,188 5,639,292 4,688,660 7,138,264
0,539	8,772,200	0,201	收入歩合 0,944 0,947 0,945 0,945 0,945 0,945
0,539	11,977,600	11,977,600	未収入額 5,112,916 7,361,216 1,011,643 2,511,333 9,511,110 4,839,336

筆滴

文章問答

問—文章に迫力をつけるにはどうすればよいか

答—文章の迫力とか強さとかいふものは、強い意味の言葉の羅列のみによつては出來ない。形式的には文章の調子、リズムを壓縮した言葉の量感等がよりよく作用し合つた場合、本質的には書かれてある内容の眞實性が迫力の原動力である。

問—原稿が書けなくなつた場合どんな展開法があるか

答—人によつて違ふが、喫煙、散歩、讀書、談笑、入浴、睡眠、アルコールをさる方法などあるやうですがそれは自分で工夫して自然に會得するより外に道はないでせう

（昭和二十四年十二月十日現在調）



隨筆

雪 西森 巽

窓外にはひびひとして粉雪が降る... 雪は今年もなつた。

民法が改正になつて成年男女の婚姻には父母の同意を要しないことになつた。

これは新憲法の「婚姻は両性の合意のみに基いて成立」と云ふ宣言からしても、まことに當然のことであらう。

だからと云つて婚姻に、父母の同意があつて悪いわけではない。

人生はまこと千種万様、婚姻にしても、愛し合つて夫婦になることと俗に云ふ戀愛結婚まことに自然的であり結構なことである。

しかし夫婦になつて心から愛し合ふことは媒酌結婚も何かほのぼのとした人間性があり、これ又決してわるくない、ましてこの結婚が両親からは喜ばれ、親類一同からも喜ばれ、友人からは祝福されるとなると、これこそ本當の良縁である。

父母が提案してもわるい、又父母に相談する必要がある、と云ふものではない。ただ尊ぶべきは本人の意志の自由である。そこで改正の民法は、本人の意志以外の意志が(こゝでは両親の同意)揃はないければ、婚姻が成立しないと云ふことにすると、婚いんの本質を害するから、それを法律の要件にしないと云ふ。ただそれだけである。

若い人々は、これからは自由結婚だと云ふ。それにあこがれて夢を追ふ。まことほゞえましく結構ではある。けれどただそれだけでは戀路の闇にならないだろう。簡単に好きになり、簡単に嫌いになる。簡単に一しよになつて、簡単に別れる。しかし自由はこの場合でもいさゝかの輕卒を許さない。自由であればある程、慎重であり責任を感じなければならぬ。

親は子を最愛のものとして育て、それだけに自分の身以上に思ふ、子も又親を心からしたう。まことに美しい情景で、社會道徳の根本である。「いかにがでせうか」「結構です」お互に心を打ちあけ相談し合ふところに理解が深まり親子の情愛が生れ、幸福な結婚が展開する。こんな風に私は今度の民法を考へたいし又そこに人間性があると思う。

「法律の上に道徳がある」と櫻積重遠先生は云つてゐる。まことに味ふべき言葉である。 二四、一二、九夜 (筆者は沼田町助役)

人間

合田 功

新春を卜して沼田町報が発刊される。町發展のために、町の文化向上のために眞に喜ばしい。希くは町民に愛される、町民に利用される、有意義な郷土新聞として、いづれでも繼續されるようお願ひも私も協力したいと思つてゐる。 私はチヨイ／＼考へて見るのだが、人と人間とはどう違ふか? 日本の言葉は眞にむつかしい、自分人間であるのか、人であるのか、一寸と考へさせられる、人は人間の間の抜けた者を指すと云ふことがある、然らば人間とは何か、人の間と言うことはまた一人前の人ではないようにも思はれる。不肖の子を掴まへて、お前も早く眞人間になれ、と言ふ、人間の上の眞の字がつけば本當の人間になれるのか、また「この人でなし」と言う言葉がある、人でなければ駄目らしい。又「彼の人となり」などと言うこともある、それらから考へても人間より人の方が一枚上の完成された人とも思はれる。

私は口ひげを生やしてゐる決して立派なひげではないが既に七八年経つ。チヨイ／＼質問を受けて「貴方は何故そのひげを生じてゐますか」と、中には「そんなチヨイひげは生意氣だから剃つてしまへ」と言う人もある。「貴方にはそのひげが大變似合います」と褒めて呉れる人もある、見る人によつて、評する人によつてまち／＼だ。他に澤山ひげを生じてゐる人もあるがその人達はどう言う考へで生やしてゐるのか私は知らぬ。だが私は斯う答へて来た「私も凡人であり、百八煩惱を兼ねこなへた人間です。色々迷ひ、悩み、果ては悪い考へも起きます。その度に私はこのひげを一撫していや／＼ひげの手前つまらぬことをしてはならぬと反省する。要するに人となるための反省の具です」と。

人となるには大變面倒らしい、どの人間が完成された人かと言ふことは却つてむつかしい、勿論オギャと生れて死ぬまで人生は修養だと言ふが、死ぬまで修養しても果して人となれるかどうかは、その人間によるだらう。私も死ぬまでには人になりたいたいと思つて、チヨイ／＼ひげを撫でてゐる。

私は過日列車の中で大きな熊を見た。勿論生きてゐる譯ではない射殺された熊の皮とそれに附屬する熊の頭だが、話によると六才と七才で七十貫位あつたそうだが、その熊をつたとする獵師の人に私は敬服した、列車内で物珍らしそうに乘客から熊取り談義をせがまれて、ぼつ／＼と人獣の命がけの斗争の模様を、おごらず、たかぶらず、あたり前の様に平々淡淡々として語つてゐたが、私はその獵師に、人となるための色々と教訓を味わつた。沼田炭礦の山深く六里の雪の中の山野を駆け廻つて、二日目に目的の巨熊に會ひ、狙ひ定めず、一發のものと射止めたと言ふ、その勇氣、忍耐力、不屈の勇氣、その落付き振り、判断力とつ／＼と語る言葉の中に私はそれらのことを強く感じた。

人となるには難しい、而かも凡ゆる機會に、凡ゆる人と通じて、凡ゆる訓練に堪えてお互に人となるための努力が必要だらう。 修身齊家治國平天下である、町政發展も人の輩出が根本にならう。「人多き人の中にも人なき人、人となれ人、人となせ人」である (筆者は町議會總務常任委員長)

沼田中學校 小岩直之 寶の贈り物

中秋の或る晩のことであつた。巴町の本田正一氏が突然來宅されて、長時間に亘つて、氏の人生觀或は職業觀、社會觀等について伺ふことが出来て實に愉快であつた。流石に永い歳月に亘る苦節奮闘の士であるだけに非常に啓蒙さるゝ點が多かつた。特に教育上に關しては尚更のことであつた。

多年心血を注がれて育てられた秘藏の植木(水松)一鉢御寄贈下さつた「常世」が「櫻、松、梅」を切つて時類を慰めた心に優るとも劣るものではないといいたく感激した譯だ、式典の當日この一鉢が如何に來賓生徒の心を慰めてくれたことか、その後連日學校を訪ねてくださる方々が一様にその余りにも立派なるに驚嘆してゐる。學校の存續する限り永遠に氏の希篤な御行爲を記念したいと思つてゐる。 御承知の如く新設校舎のこと、極めて文化財に乏しい、せめても健全な雜誌圖書なりとも思ふ存分生徒達に心讀させたいと常日願つてゐた、ところが十一月中旬に坂本秀義氏來校百冊の大圖書を生徒諸君のために寄贈して下さいました。生徒職員よろこびは言うまでもない、今は一週間ごとに科學に、文學に、文藝にと全生徒が活用してゐる。やがてこの事が基となつて學校圖書館が出来ることを思うとき感涙を催すには居られない兎にも角にも兩氏の篤行は金錢にて計り知ることの出来得ない寶の寄贈であつた譯だその後も兩氏の如く生徒の將來を考へて學校に種々と心を寄せて下さる方が多くなつて来たことは誠に有難い次第である

畫の休みに 偶 感 沼田町立沼田小學校長 永田 駒 男

新しい教育も、新しい政治も、亦新しい生活も凡てが、先ず民主化を源泉として、國家再建振興の爲め五年を繼て來ました。 一九五〇年を告げるぼん鐘の余韻を心良く聞きながら時が除々に凡てを解決する事を今更の如く感ぜ